

1	<p>スクール・ミッション</p> <p>「知性と感性を磨き自らの健康を培いながら向上進取の精神で自己実現を目指す」教育理念のもと、真理を探究し、問題を解決する態度や責任を重んじて自主的に行動できる生徒を育てます。さらに、国際交流プログラムや異文化交流を通して国際人の育成に力を入れグローバルに活躍する人材を育成します。</p>				
	<p>アドミッション・ポリシー</p> <p>グローバルに活躍する人材を育てる進学校として、次のような生徒の入学を期待します。</p> <p>(ア) 学習意欲に富み、自らの目標に向けて学業に励むとともに、高い教養を身に付けようとする生徒</p> <p>(イ) 学校行事や部活動等の特別活動に積極的に参加し、自主・自律の精神を磨こうとする生徒</p> <p>(ウ) 志を高くもち、失敗にくじけず、物事に前向きに取り組む意欲をもつ生徒</p> <p>(エ) 異文化に興味と関心をもち、国際理解教育に積極的に取り組む意欲をもつ生徒</p>				
2	<p>(1) 学校経営</p> <p>ア 組織</p> <p>(ア) 教育職員</p> <p>◆生徒の進路実現に向けた学習指導を展開し、良好なコミュニケーション、教員の協働、同僚性の高い組織環境のもと、一丸となって学校経営の課題解決に取り組む。自己研鑽に励むとともに、人材育成を目指したOJT活動を推進する。ハラスメントやサービス事故のない職場を維持する。</p> <p>(イ) 行政職員</p> <p>◆適正な予算編成と執行などの財務管理及び安全な教育環境の維持・管理を徹底するとともに、学校経営を支える企画提案に取り組む。また、ハラスメントやサービス事故のない職場を維持する。行政職員の学校運営への参画</p> <p>イ 施設・設備</p> <p>◆施設・設備を安全に維持・管理するとともに、その充実・改善を図って教育効果の一層の向上を図る。</p>	<p>(2) 学習指導・国際教育・進路指導</p> <p>ア 学習指導・国際教育</p> <p>◆卒業までに行えるようになる力を見通した学習指導。</p> <p>◆学習や進路に関する教員の期待の表明</p> <p>・基礎・基本の確実な定着を基盤に、体験的、探究的な学習を取り入れ、生徒が学問に興味・関心をもち、学ぶ喜びや感動を実感することで志高く自ら学びに向かう教科指導を実践する。</p> <p>・また、自主・自律の精神を育むとともに、様々な課題に対応できる能力と態度の育成を図る。</p>	<p>イ 進路指導</p> <p>◆広い視野と挑戦心の育成を図る。</p> <p>・将来の進路決定のために深い学びと幅広い教養を身に付けさせる指導。</p> <p>・進路、学年、教科等の連携を深め、組織的な進路指導体制の構築。</p> <p>・自主的、自律的な家庭等での学習につながるよう教科指導の充実と工夫を図る。</p>		
	<p>中期的な目標と方策</p>	<p>・学校経営計画、分掌目標、職層に沿った明確で具体的な目標を立て、その達成に向けて力を発揮するため、達成時期、数値目標等を自己申告書に明記し、達成に向けて計画的に取り組む。</p> <p>・新たな課題、解決方法を積極的に発見し、解決案を提示する。</p> <p>・校内研修、企画調整会議、職員会議等による教育課題の共有化。</p> <p>・ライフワークバランスの取組の推進。</p> <p>・産業医、安全衛生委員会の活用</p>	<p>・中期的な視点に立脚した自律経営推進予算の編成と効率的執行。</p> <p>・学校における働き方改革プランに基づき、ライフワークバランスの実行を進めるため、計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図る。</p> <p>・副校長と連携し、遅滞のない計画的な業務を進める。また、校内施設・設備の安全点検と増改修推進のための支援センター、高等学校教育課との折衝を行う</p> <p>・教員と経営企画室との連携、意思疎通を進め、双方にとって効率的な業務改善を行う。</p>	<p>・施設・設備の安全確認・点検等を定期的に行うとともに、改修や改善を要する施設・設備については増改修要望を利用して学校経営支援センターや営繕課と連携して教育環境の維持改善及び向上を図る。</p> <p>・複数年度にわたる中期的計画の作成。</p> <p>・感染症予防対策のための施設設備の改善充実及び衛生管理用品の十分な確保。</p>	<p>・教員一人ひとりの授業力を高めるため、「生徒が主体的に活動する場面を取り入れた授業（主体的・対話的で深い学びを目指す授業）」の展開。</p> <p>◆学習到達目標の明示。また、単元ごとに生徒の関心を引き出す「問い」をたてること。</p> <p>・国立大や難関私立大を第一志望とする生徒の進路実現を目標に、高い学力を身に付けさせるための質の高い教科指導を保証する。</p> <p>・教科学習はもとより教育活動全般においてICT機器を活用した教育を進め、高度な情報化社会に適應できる能力を育成する。</p> <p>・定期考査の各科目は共通問題とするよう努める。</p>
3	<p>(1) 教育目標と方策</p>	<p>(2) 重点目標と方策</p>	<p>(3) 数値目標</p>		
	<p>・企画調整会議での議論の活性化による学校経営の一層の充実・改善。</p> <p>・体罰や個人情報漏洩等のサービス事故の防止。</p> <p>・全教職員が互いに人材育成に積極的に取り組み、互いの能力開発に努める。</p> <p>・若手教員が主体的に自己研鑽に励み、自信を持って学校教育や学校運営に当たれるようになるために、主幹教諭、主任教諭、経験豊富な教諭は自己申告書に人材育成に関わる目標を明記する。</p> <p>・若手教員の研修計画に基づき、各主幹教諭は専門分野の指導計画を立て実施する。</p> <p>・ICTによる業務の効率化に伴う職員の業務の軽減とライフワークバランスの実現を図る。統合型校務支援システムや採点支援システムの積極的な活用。</p> <p>・コンプライアンス徹底。業務継承と人材育成。</p>	<p>・経営企画室職員は、経営企画室長の指導の下、職務に精通するとともに、学校運営に対し、積極的な提案を行う。</p> <p>・効果的な教育活動、安全な学校生活などについて、付加価値の高い業務を推進するため、効果的な教育活動、生徒の安全管理について、優先順位を明確的にして予算計画を立てる。効率的で有効な予算活用を心掛ける。適正かつ迅速な予算執行を行う。</p> <p>・経営企画室については、進路管理を適切に行うとともに、報告、連絡、相談を必ず行い、責任と意欲のある業務を遂行する。</p> <p>・学校説明会など広報活動に携わる。</p>	<p>・ICT機器の整備や更新による充実。</p> <p>・校費縮減に伴う校内予算の精選と重点支出の設定。</p> <p>・TEPROとの連携を円滑におこない、施設修繕の迅速化を図る。</p> <p>・デジタル等成長分野を支える人材育成の充実を図るために必要な取組を実施するに当たり、必要となる機器を購入する。</p>	<p>◆自宅学習に意欲的に取り組む生徒を育てるため、生徒が主体的に取り組むことが期待できる授業方法、予習・復習方法を全教員が考え、授業で実践する。</p> <p>・一人1台端末を活用した探究的な学びを強化する。</p> <p>・教育データを活用し、授業の適正さや定期考査の適正さについて検討を行う。また、各生徒の弱点等を確認し助言する。</p> <p>・進路希望に沿った、長期休業期間中の講習。</p> <p>・国際理解教育を通して多様な人々を受容する精神を育むとともに、地域や他校等との連携を深め、率先して社会に貢献しようとする態度を育成する。また、国際交流事業の充実を図ることで、多様な価値観の理解や言語能力向上への意欲を育て、国際社会におけるリーダーとしての資質を育成する。</p> <p>・TGGの活用、海外修学旅行の実施、オーストラリア国際交流事業の改善を図る。</p>	<p>・学習や進路に関する取組を計画的に配置し、生徒が積極的に活用するよう支援する。</p> <p>・模擬試験等の結果を活用して、生徒全体の学習理解度を分析し、授業に反映する。</p> <p>・個々の生徒の進路指導や二者・三者面談の実施。</p> <p>・模擬試験の準備等は進路指導部が中心となって行う。</p> <p>・模擬試験ごとに模試分析会を開催し授業内容や授業進路について改善を行う。</p>
<p>(3) 数値目標</p>	<p>(数値目標1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立大学合格者数 12名 (昨年度9名) ・難関私立大学合格者数 20名 (昨年度13名) ・GMARCH合格者数 140名 (昨年度129名) 				

<p>カリキュラム・ポリシー</p>	<p>本校では、次の4点を特色とする教育活動を実施します。 (ア) 真理を探究する喜びを知り、課題解決に挑戦するための高い教養を身に付ける授業。 (イ) リーダーシップ、フォロワーシップを学び、自主・自律の精神を磨く学校行事と部活動。 (ウ) 自分を見つめ、視野を広げて、夢に向かって着実に進む井草夢プロジェクト。 (エ) 自国に対する理解を深め、異文化を学び、多様な価値観をもつ人々と共に学ぶ国際理解教育。</p>											
<p>グラデュエーション・ポリシー</p>	<p>本校では、4つの資質・能力の育成を目指します。 (ア) 真理を探究し、課題を解決しようとする態度 (イ) 自主・自律の精神 (ウ) 社会で前向きに生きていく力 (エ) 国際社会で活躍し、貢献できる力</p>											
<p>(3) 生徒の健全育成と心身の健康</p>		<p>(4) 特別活動</p>		<p>(5) 地域貢献</p>		<p>(6) 広報活動</p>						
<p>ア 健全育成</p> <p>◆社会人として公共心、道徳心を涵養し、規律・規範の育成や社会貢献の意識の醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の確立、時間管理の意識向上を図る。 ・ 授業、部活動、ホームルーム活動をとおりしてコミュニケーション能力を育成する。 	<p>イ 心身の健康</p> <p>◆心と体の健康を守り、安心して学校生活を送られる環境作り。相談、支援体制の一層の強化を図るとともに、生涯にわたる健康維持、増進に必要な基礎知識を育成する。</p>	<p>ア 行事等</p> <p>◆学校行事を通して、情操を豊かにするとともに、健全な帰属意識を醸成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別活動の自主的な企画・運営、継続的な読書活動、プレゼンテーション能力育成の教育活動を通して、論理的思考力、考察力、及び自分の意見を的確に表現する能力を育てる。 	<p>イ 部活動</p> <p>◆部活動への積極的な参加を奨励し、心身の健康を増進し、文化教養を高める。地域に貢献する活動をとおりして社会性の涵養を図る。</p>	<p>◆保護者・地域との絆を深めることによる応援者の獲得。地域に認められる学校となるために、規律・規範意識の育成、あいさつ指導等を推進するとともに地域との連携を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設開放や公開講座を利用し地域との連携を図る。 	<p>◆教育活動の広報を通して、地域社会や地域の学校に本校の教育活動への理解を深めてもらうとともに、より学び意欲の高い生徒の募集を目指す。</p>							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際社会で活躍するリーダーとしての規範意識と社会性を育成する。 ・ 国際理解教育を通して多様な人々を受容する精神を育む。 ・ 授業に集中する環境や意識を向上させる ・ 身に付けるべき社会性を育成する。 ・ 時間の順守(遅刻防止)、挨拶の励行を指導の重点とし、生徒部と学年が協力して効果的な指導を図る。 ・ 組織的な清掃と美化活動の指導を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の心身に関連する委員会の効果的な開催による生徒の支援を行う。 ・ 食育リーダーを中心とした食育の推進。 ・ SC、特別支援教育コーディネーター等を活用した研修会の開催。 ・ いじめ、体罰を発生させず、生徒が安心して学校生活を送れる環境作り。 ・ SC及び保護者との連携、及び状況に応じたY・SWの活用。 ・ 心身の不調等、生徒の変化に機敏に気づき、学年や管理職と情報共有して、早期対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の一体感、自己肯定感、自尊感情を高めるための場作りと指導を実践する学校行事、生徒会活動、委員会活動、ホームルーム活動、外部ボランティアなどでの、生徒の活動が生徒間で見える取組を実施。 ・ 文化、芸術に親しむ行事、防災に係る活動に親しむ行事、読書活動に親しむ行事、主権者意識を高める行事の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動への参加を奨励し、文化活動や体育活動をとおりして、生涯にわたり健康で文化的な生活を送るための基礎を培う。 ・ 主体性のある生徒を育成するための指導スキルを身に付け、特別活動や授業でその力を発揮する。 ・ 部活動等では計画的なミーティングを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事への参加や地域との交流活動を推進し、積極的に社会参加、社会貢献しようとする態度を育成する。 ・ 講演会をボランティア活動、共生社会についての理解、グローバルな人材教育などにも活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の教育活動を、機を逃さずタイムリーに紹介する。 ・ ホームページや屋外掲示板を適切に管理し、更新する。 ・ 学校説明会では生徒に行事などの取組みを紹介させる。 ・ 学校紹介映像を作成する。 ・ 都立学校PRサイトの本校の新規コンテンツの企画・制作を行う。 							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話の活用に関する意識の向上を図る。特にSNSの適切な活用を、セーフティ教室等を通じて指導する。 ・ 交通安全教室を通じて、交通ルール遵守の意識を高める。特に自転車事故の防止に努める。自転車通学生徒のヘルメットの着用を推進する。 ・ 2022年4月より成人年齢が18歳に引き下げられたことを受け、投票行動や政治への関心を持つよう主権者教育の充実と、消費者教育の充実を図り、社会性を高校段階において十分に培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の変化に機敏に気づき、情報を共有して、早期対応に努める。 ・ 特別支援教育に関して教員全員が理解するための研修会を実施。 ・ 生徒間で互いを尊重する意識や共生の意識を育て、安心で安全な学校とする。 ・ 外部機関との連携 ・ SOSの出し方に関する教育の実施や相談先の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主・自律の精神を育むことを目標に、学校行事や部活動等の特別活動において、教員の指導の下、生徒に考えさせ、ガイドライン等ルールを遵守しつつ新たなことへ挑戦させる指導を行う。 ・ 統合型学習支援システムを活用した行事などの振り返り。 ・ 18歳での選挙権行使などを見据え、早い学年から社会参加意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故等の未然防止と万一の場合の適切かつ迅速な対応の徹底。 ・ 顧問教諭や関係教諭、スクールカウンセラー等による面談等を実施し、部活動生徒をサポートする。 ・ 公式戦参加奨励や公的発表会等への参加。 ・ 部活動をとおりして地域の学校や他校との生徒同士の交流活動の拡大を図る。 ・ た生徒の体力向上及び健康の保持増進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPOなどの外部機関と連携して生徒の支援や視野を広げる活動の実施。 ・ 地域関係機関と連携した防災訓練の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校ホームページの充実及びX(Twitter)等の活用により、行事や部活動等の教育活動の情報発信を実施。 ・ ホームページは年間200回以上の更新を目標とする。(2025年は134回の更新) ・ 幅広く(対象及び地域)本校の魅力を広報し、中学生の選択肢に本校を加える。 ・ 全教員が広報活動に協力。教員全員が本校の方針、特徴、具体的取組み等について説明できるようにする。 							
<p>(数値目標2)</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 推薦入試応募倍率</td> <td>2.00倍</td> <td>(昨年度 1.18倍)</td> </tr> <tr> <td>・ 学力検査応募倍率</td> <td>1.50倍</td> <td>(昨年度 1.10倍)</td> </tr> </table>							・ 推薦入試応募倍率	2.00倍	(昨年度 1.18倍)	・ 学力検査応募倍率	1.50倍	(昨年度 1.10倍)
・ 推薦入試応募倍率	2.00倍	(昨年度 1.18倍)										
・ 学力検査応募倍率	1.50倍	(昨年度 1.10倍)										